

Withコロナ時代の 新たな 産官学連携

～Society5.0時代の連携の在り方とは～

今般の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、私たちの社会生活においてテレワークやオンラインでの会議や授業の導入を余儀なくされ、期せずしてその技術革新が生活にもたらす恩恵を目の当たりにすることとなりました。

Society 5.0 時代へ加速度的に移行しようとするいま、産官学における AI (人工知能) や IoT (モノのインターネット) などを活用した新しい連携の在り方を模索する時期に来ており、今回はこのコロナ禍において岐阜を中心に産官学の新しい連携創出に日々尽力されている NPO 法人 G-net 南田氏にご講演いただき、その好事例を共有するとともに、今後期待される連携のかたちについて共に考えます。

定員 **100**名
(事前予約制)
受講無料

日時 2020年
10月15日(木)
15:00~16:30

場所 オンライン (Zoomにて)

対象 本テーマや産官学連携の取組に興味・関心のある地域住民をはじめ、自治体・産業界のご担当者、教職員や学生など、どなたでもご参加いただけます。

申込方法 裏面をご覧ください、申込フォームにてお申込みください。



■ 講師プロフィール

南田 修司 氏

- ・ NPO法人G-net 代表理事
- ・ 内閣府地方創生インターンシップ推進研究会委員

1984年、奈良生まれ。奈良学園高等学校、三重大学大学院教育学研究科修了。09年に新卒でNPO法人G-netに加入し、副代表、共同代表を経て17年より代表理事に就任。中核事業である長期実践型「ホンキ系インターンシップ」は地方都市初の本格的事業化に成功し、政府による複数の表彰や全国で採用される高校「政治経済」教科書でも紹介されている。また、13年には、中小企業の右腕人材に特化した新卒就職採用支援事業「ミギウデ」をスタート。18年には、蓄積したインターンシップのコーディネートノウハウを活用し、兼業・プロボノ人材のコーディネートに特化したマッチングプラットフォーム「ふるさと兼業」を立ち上げた。その他、大学教職員向けの研修や、カリキュラムの共同開発など、地域と人材を多様な形で繋ぐ仕組み作りを進めている。

主催 大阪府内地域連携プラットフォーム
(大阪府・大阪市・大阪商工会議所・大学コンソーシアム大阪)



大阪府内地域連携プラットフォームとは…

2018年9月に大阪府・大阪市・大阪商工会議所・大学コンソーシアム大阪の四者による大阪地域の高等教育、及び地域社会の一層の活性化を図りながら、地域の発展に貢献することを目的としたプラットフォームが設立されました。

大阪ではゴールデン・スポーツイヤーズ（2019-2021年）や国際万博（2025年）等の国際イベントのほか、国連サミットで採択されたSDGsへの取組が展開されているなか、これらを好機と捉え、産官学の連携を一層強化し、大阪の社会的課題・地域課題に四者一丸となって取り組んでまいります。

時間	内容
14:50～	サイト開場
15:00～ 16:30	<ul style="list-style-type: none">■ 司会・進行 大阪学院大学 社会連携室課長 宮原 秀明氏■ 開会挨拶・趣旨説明 四天王寺大学 副学長 矢羽野 隆男氏■ 大阪府内地域連携プラットフォームの紹介■ 講演（60分） 「Withコロナ時代の新たな産官学連携 ～Society5.0時代の連携の在り方とは～」 南田 修司氏（NPO法人 G-net代表理事／インターン事業部統括部長）■ Q&A■ 閉会挨拶 大阪工業大学 研究支援・社会連携センター長 杉浦 淳氏

申込から参加までの流れ

- 1 申込フォーム（<https://forms.gle/GDuviRUTum7sRmue9>）に必要事項を記入の上、送信してください。
※個人情報とは本公開講座の運営管理の目的にのみ利用させていただきます。
- 2 送信完了後、受付メールが自動送信されます。
※受付メールが届かない場合は、下記問合せ先まで連絡をお願いします。
- 3 参加者全員に大学コンソーシアム大阪より「招待メール（ZoomのURL記載）」を送信します。
- 4 当日は、開始10分前から接続が可能となります。
招待メールにてお知らせしたリンクより参加してください。



申込フォーム
QRコード

申込締切 10月9日(金) ※先着順（定員に達しだい、締め切らせていただきます）

問い合わせ先

大阪府内地域連携プラットフォーム事務局（大学コンソーシアム大阪事務局内）
TEL：06-6344-9560（平日／月～金 9：30～17：30）
メール：osaka-chiiki-pf@consortium-osaka.gr.jp